



川島こども園



目次

議案の審議から 2

代表質問 6

一般質問 8

クイズ 15

あとがき 16

平成26年
3月議会 定例会

議案の審議から

日程：平成26年3月3日～3月20日

3月定例会では、条例関係案47件、予算案18件、専決関係案1件、その他8件が提案され、原案どおり可決・承認されました。

総務常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計予算について

質問

江川湧水池周辺の整備事業費として、3240万円を計上しているが、その工事の概要は。

総務部次長

市が管理している江川湧水池周辺の整備を行うもので、主な工事の概要は、江川周辺の遊歩道の設置および、舗装などの整備、危険防止柵、花壇の設置、橋の塗装、街路灯の設置などの整備を行うこととしている。
また、湧水対策として一定の水量が確保できるよう簡易的な可動堰を設けることとしている。

質問

本年4月末を持って、巡回バスを廃止す

るが、廃止の決定に至った経緯、および理由は。

総務部次長

巡回バスは、合併に伴う分庁舎方式の補完対策として市民サービスの低下を招かないことを目的として運行を開始した。しかし、昨年1月の庁舎統合により、市民の方は1か所で行政サービスが受けられることとなったこと。

また、利用者数が1便あたり0・8人、1日あたり6人程度と低迷している状況にあることから、買い物支援等検討委員会において協議の結果、当初の目的は達成されたとの理由で、本年4月30日をもって廃止することになった。

質問

巡回バス廃止後の対応は。

総務部次長

市民の方からの相談業務については、各支所の窓口で対応ができるよう、総合窓口を設け、サービスの提供を行っている。

また、今後においても市民の方々からの相談業務について、十分な対応ができるよう体制などを検討し、市民サービスの向上を図りたい。

質問

市制10周年記念事業の手作りイベント事業の助成について、採択されなかった団体についてもできるだけ参加できるように配慮すべきと考えるが。

企画財政課長

本事業は、多くの市民のみなさんにお祝いしていただくため、実施するものと考えており、審査

基準に合うものではない。予算額を超過する場合は、6月の補正で対応したい。

◇以上異議なしで可と決定



江川湧水池

文教厚生常任委員会

▼吉野川市鴨島老人福祉センター条例について

質問

施設使用料改正の4議案について、消費税増税分を安易に転嫁すべきでないと考え、川島・城山の両老人福祉センターの24年度決算での使用料収入はいくらか。

福祉総務課長

24年度決算では、使用料は発生していない。◇賛成多数で可と決定

▼平成26年度吉野川市一般会計予算について

質問

子育て世帯臨時特例給付金について、給付方法はどのようにするのか。また、給付期間が経過すると給付できないと聞いているが、本市の対応は。

質問

と同様の方法で実施したい。給付期間の周知については、申請期間を3か月としていることから、未申請者には電話連絡などにより、すべての方に給付したいと考えている。

生涯学習課長

指定管理委託料が増加しているが、公の施設を指定管理者に行わせる場合には、消費税の引き上げの影響額を適切に計上されたいと国から通達があったと聞いているが、予算に計上しているのか。

介護保険課長

第6期介護保険事業計画では、要支援が介護給付から外される。要支援の方々には認知症の方もおられるが、この方々の支援は地域ボランティアで対応することになっているのではないか。

子育て支援課長

学校再編の際には、運営している事業者と協議を行い、課題などについて検討する。また、使用料については27年度に子ども子育て支援新制度が制定されることから、この基準を踏まえて条例を整備したい。

質問

以上異議なしで可と決定

▼平成26年度吉野川市介護保険特別会計予算について

質問

要支援1・2については、給付事業から外れる

決定

こととなるが、地域支援事業として包括支援センターで対応することとなる。このことから生活支援では、地域ボランティアが必要となり、地域ボランティアの育成に努めていきたい。

決定

以上異議なしで可と決定

子育て支援課長
給付方法は、児童手当

山川町にある発達支援センター吉野川で

協定により指定管理委託料については、委託料

は、給付事業から外れる

は、支援の必要な子どもへの巡回相談を実施していると思うが、市との連携はどのようになっているのか。

が不当と認められた時には、市と協議することになっており、現時点では指定管理者の努力によって、消費税分の増額の申し入れがないことから、加算はしていない。



発達支援センター吉野川

産業建設常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計予算について

質問

買い物支援対策事業の事業内容や補助金の詳細、および事業者数は。

産業経済部次長

移動販売を行う事業者を対象とする事業であり、事業運営費として規定の額を補助するものである。補助金額については車両総重量区分ごとに定めた金額を車検年数で除した金額になる。

新たに車を購入する場合は車両本体価格の3分の1を補助することとし、上限は100万円である。ただし、重量税や車検代行料、車庫の新設や修繕にかかる経費は対象外とする。
現在、市内で配達事業を行っている業者数は美

ては市のホームページに説明を掲載しており、規模の大小に関わらず、農業をやってみたいと思う方が借りられるような仕組みになっている。

平成26年度以降については、国の農地中間管理機構が各県に配置され、そこが主になって遊休地を集め、その管理を市町村に委託することとなる。市町村は遊休地を管理しつつ、農業をする方を探していくという事業の方針などが定まり次第、説明する。

質問

遊休地に対する取り組みの現状とこれからの目標は。

農業振興課長

平成25年度の耕作放棄地は田、畑を含めて39万6647㎡で、その対策として農地バンク制度があり、登録者数46名、登録筆頭数100筆、7万7975㎡となっている。うち32筆、3万3658㎡についてはすでに借り手がついており、残余については現在も継続して借り手を募集している。

農地バンク制度について

場合、どの程度の耐用年数が見込まれるのか。

建設部次長

橋りょう耐震化は、主に落橋防止装置の取り付けを行うものであり、耐震補強工事の際は、橋りょう全体の健全性について維持しなければならぬ。その点については、橋りょう長寿命化修繕計画を策定中であり、今後はそれに基づき健全性を維持していくことから、耐用年数が何年といえるものではない。

質問

橋りょう耐震化について、工事を実施した

◇以上異議なしで可と決定



移動販売車

本議会討論

▼「吉野川市飯尾敷地コミュニティセンター条例の一部を改正する条例制定について」他22議案について

◆反対討論

岡田 光男

これらの議案は、消費税引き上げによる公共施設の使用料が値上げとなる条例改正議案である。

4月からの消費税率引き上げにより、景気の腰折れが懸念されている中、増税分を転嫁することとは腰折れを加速させるものである。

今回の改正は、各部署において、十分に検討したとされているが、老人福祉センターなどは、24年度決算で使用料は発生していない。

また、施設使用料の増加見込みは、わずか0.002%程度であることから、内部努力で十分賄えるものでもあり、施設によって値上げ幅もまちまちで十分検討したとは

思えない。

次に、国からの通達では、指定管理者に支出する委託費についても適正に計上されたいとのことであったが、委員会の中で、正しく反映されていないことがわかり、企業努力とはいえ疑問符をうたなければならぬ。

いずれにしても、景気は良くならない、暮らしに不安がある中、国に納税する義務のない、消費税増税分の公共施設の使用料への転嫁は、市民の暮らしを応援する事に逆行することから、見送るべきである。

よって、公共施設の使用料に消費税増税分を転嫁することに反対する。
・賛成討論なし

◇賛成多数により可決

代表・一般

ここが聞きたい

質問

3月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 細井英輔

- 防災対策について
- 学校再編に係る地域説明会について
- 企業誘致について
- 官公庁オークションについて
- 子育て支援について

② 川村辰夫

- 消費税率引き上げについて
- こども園設置について
- 市有地の売却について
- 防災情報通信システム整備の工事了了に伴う個別受信機の設置について
- 庁舎照明器具のLED化について
- 道の駅設置について
- 福祉行政について
- 企業誘致について

一般質問

③ 桑原五男

- 教育行政について
- 観光施策について
- 企業誘致と定住者対策について
- 防災対策について
- 市制10周年記念事業について
- 都市計画区域の廃止について

④ 高木純

- 収入未済金について
- 買い物弱者支援対策について
- ふるさと納税について
- 職員研修について
- ゴミ減量について

⑤ 相原一永

- 障がい者の情報保障について
- 認知症高齢者の介護支援について
- 臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の申請手続きについて

⑥ 福田正

- ワクチン接種について
- 福祉計画について
- 介護保険計画について
- 環境施設の統合について

⑦ 工藤俊夫

- 市有林材の利用と木造住宅新築補助事業について
- 権限委譲事務について
- 代替え揚水施設について
- 上浦断層帯について
- 女性の人権について
- 「人権尊重のまち」宣言について

⑧ 阿佐勝彦

- 学校再編計画について

⑨ 枝澤幹太

- 団塊世代の知恵と行動力をまちづくりの原動力としての活用について

- 学校教育環境の充実について

- 乳幼児を取り巻く環境について

⑩ 田村修司

- 地域密着型介護事業者の指導について
- 給食センターの取り組みについて

⑪ 岡田光男

- 消費税の増税について
- 定住促進について
- 学校再編計画について
- ワクチン接種について
- 農林業施策について

平成26年3月議会定例会

代表質問



細井英輔
(黨風会)

活性化まちづくりで、条例に基づく
奨励金は支給対象になるのか

(質問)

要件の緩和を視野に入れた
見直しを検討

(答弁)

◎質問

平成26年度の主要施策として、「地域の活性化・定住を促進するまちづくり」で、「市内新設事業所への転勤などによる転入補助事業」が盛り込まれ、120万円の事業費で実施するところだが、今回の「転入世帯家賃補助事業」のねらいと具体的な制度は。

◎井内産業経済部長

市内へ進出、移転する企業に勤める転入者を対象に、家賃の一部を補助することで、企業や従業員

◎再問

員に対し、本市のPRやイメージアップにつながる、定住促進を狙っている。

徳島新聞に日清紡

ホールディングスが繊維の研究開発部門を日清デニム敷地内に移転、大真空徳島事業所は研究開発拠点を新設すると掲載されていた。両社とも従業員を増やす計画がある。この場合「吉野川市企業立地促進条例」に基づく奨励金の支給対象になるのか。

また、本市は企業支援策とは別に子育て支援策が充実しているが2つの企業にPRしてはどうか。また、他の企業にもPRしてはどうか。

◎井内産業経済部長

条例における対象業種では研究部門は該当せず、「市内に3000㎡以上の事業所を取得すること」が条件となっているため、該当しない。

また、転勤する方に本市を選んでいただくため、制度を紹介したチラシを作成し企業を訪問する準備をしている。

◎川真田市長

2つの企業拡張は、本市にとって非常に大きなメリットがあると考えられる。要件の緩和を視野に入れた見直しを検討したい。

【その他の質問】

◎質問

防災行政無線の受信状況と今後の運用方針は。

◎防災局長

市内全域における電波の受信状況を調査し、今後の方針を検討したい。

◎質問

防災マップの見直し点と対応は。

◎防災局長

川田川流域の洪水ハザードマップの見直しがあり、早い時期にマップの作成をする。

◎質問

消防車・救急車両等の大型化に伴い、市道などの待避場や隅切りの整備が必要と考えるが市の対応は。

◎建設部次長

防災局・建設部・徳島中央広域連合と連携を緊密にし、優先度・重要度の高い箇所から事業化。

◎質問

市内河川の氾濫防止対策として、浚渫は必要だと考えるが、県との協力的体制は。

◎建設部次長

県の河川担当部局との連携・協力的体制を緊密にし、浸水被害軽減に努める。

◎質問

学校再編にかかる地域説明会の参加人数、保護者の反応は。また、今後地域にどのように説明するのか。

◎教育次長

市内5地区で、計7回説明会を開催し、合計193人が参加した。賛成ばかりでなく、疑問や不安を抱いている方もいた。今後、こちらから向き、教育委員会の考え方を説明したい。

◎質問

不要物品のインターネットオークションの進捗状況と実績は。

◎総務部次長

3件の物件が落札。今後、インターネット公売を活用していきたい。

※浚渫(しゅんせつ) 河川や港などの底面をさらって、土砂などを取り去る土木工事のこと。

地域の活気につながる道の駅、 今後の研究課題としたい

(答弁)

道の駅設置について市の考えは

(質問)



川村 辰夫

(志誠会)

◎質問

道の駅設置に関して、道路管理者と市町村で整備する地域振興施設は、国、県の補助があり市の費用負担は非常に少なく済む。

道の駅は当初、通過する道路利用者のサービスが中心で、近年では農業、観光、福祉、防災、文化など地域の個性、魅力を生かしたさまざまな取り組みが行われている。

◎質問

乳幼児への助成制度と活用状況は。

◎健康福祉部次長

出生届時にパンフレットで説明し、電話連絡もしている。

◎質問

公立・私立の保育所での多子軽減措置の実施は。

◎健康福祉部次長

同一世帯で幼稚園、認



新吉野川市制度企業PR
パンフレット

◎質問

保育所運営への民間活
力導入と今後の展望は。

◎健康福祉部次長

定こども園、認可保育所に在園中の場合にも保育料減免の措置が適用になるよう拡充する。

い。の拡充を検討していき

これからは地域の拠点機能の強化とネット

ワークを重視し、道の駅自体が目的となる。地域の活性化のため、本市の西部地区に設置する考えは。

◎貞野産業経済部次長

道の駅を整備することにより、地元でとれた農産物の直売や飲食店を整備すれば、人も訪れ、地域の活気を取り戻すことにつながるかと考えられる。今後の研究課題としたい。

◎再問

研究課題ということ
で、将来道の駅に発展
するよう含みを持たせ
て、農産物的なもの
を設置できないか。

◎貞野産業経済部次長

農産物的なものにつ
いても、諸課題の研究
したい。

[その他の質問]

◎質問

24時間介護サービス

の取り組みについての
考えは。

◎健康福祉部長

第6期介護保険事業計
画の中にも訪問介護など
に引き続き盛り込みた
い。

◎質問

高齢者の運転免許証
返納に伴う交通機関利
用助成の考えは。

◎健康福祉部長

他県では企業の協力を
より、タクシートの運転割
引の例がある。運転免許
証を取得していない人と
の整合性を検討する必要
がある。

◎質問

防災情報通信システ
ム整備の工事完了に伴
う個別受信機設置の考
えは。

◎防災局長

個別受信機を各公共施
設などに設置し試験運
用しており、その結果を踏
まえ今後の方針を決定し

たい。

◎質問

個別受信機は、いつ
ごろをめどに設置され
るか。

◎防災局長

非常に有効な設備であ
り、財政当局と協議す
る。

◎質問

旧消防本部庁舎跡地
が売却されたが、他の
市有地についてはどの
ように進めていくの
か。

◎総務部次長

将来を見据えた公有財
産の有効的な活用策や貸
し付けを含め、処分方法
などについて検討したい。

◎質問

庁舎照明器具のL
E D化する考えは。

◎総務部次長

財源確保も含めて、L
E D採用に向けて検討し
たい。

平成26年3月議会定例会

一般質問



榑原五男

ゆるキャラの予備を作製する
考えは

(質問)

活動状況を見て検討したい

(答弁)

◎質問

観光施策について、
1点目に子どもたちに
非常に人気のある、ゆ
るキャラ「ヨッピー・
ピッピー」の予備を作
る考えはないのか。
2点目に、市制10周
年の一環として、キャ
ラクターグッズを作る
という事だが、作成と
販売について市の考え
は。
3点目に、民間運営
となる「鴨の湯」の発
券済み入浴回数券の使
用期限を延長する考え
は。

◎貞野産業経済部次長

「ヨッピー・ピッピー」
は昨年73日の活動実績
があり、4月はメンテナ
ンスをする事になってい
る。新しい着ぐるみの作
製は、これからの活動状
況を見て検討したい。
2点目のキャラクター
グッズは、10周年の記念
事業の一環として各種の
イベントの参加記念品や
一般への販売、配布を行
う予定。
3点目の鴨の湯入浴回
数券は、平成26年4月1
日から民間事業者に経営
が代わるため、2月19日
までに販売した回数券は

平成27年3月31日までの
1年間利用できる。ま
た、平成26年3月25日と
期限を定めた回数券は、
なるべく早く使用してい
ただくよう周知に努めた
い。

◎再問

年間に73日も活動し
ている「ヨッピー・
ピッピー」は、傷んで
当然だと思う。2体で
85万円ぐらいで作れる
というのを聞き、人
気、活躍度を考えると
安いのではないかと思
うが市長の考えは。

◎川真田市長

「ヨッピー・ピッピー」
については、本市の公式
キャラクターとして大変
活躍している。今後さら
に活動の場が増えるよう
に、本市もアピールして
いきたい。予備の作製に
ついては検討したい。

【その他の質問】

◎質問

小中一貫校について
市の考えは。

◎教育長

小中一貫校は、学校の
ありようの一つの形態で
ある。今後、先進地の多
様な取り組みについて調
査、検証したい。

◎質問

スクールガードへの
取り組みの状況は。

◎教育長

各校の安全、安心対策
会議などに参加し、校区
の実情や要望など十分把
握し対応したい。

◎質問

いじめ対策として目
安箱を設置する考え
は。

◎教育長

他の自治体における取
り組み事例を参考にし今
後検討したい。

◎質問

地域企業との防災連
携の考えは。

◎防災局長

1つの企業と市の関係



「ヨッピー・ピッピー」
キャラクターグッズ試作品

で応援協定の締結は難しい。
事業を対象とし、選定委員会最終決定する。

◎質問

市民手作りイベント
事業の公募内容と審査
基準は。

◎総務部長

今後の本市のさらなる
飛躍につながると思われ

大々的に売り出してい
る自治体がたくさんあ
る。

◎質問

線引き廃止に向けて
の取り組みと現状は。

◎建設部長

26年度中に検討委員会
での作業を終える予定。



高 木 純
たかぎ じゅん

ふるさと納税制度を市の経済
活性化の手段に

(質問)

市のブランド認証商品の販路
拡大を考えたい

(答弁)

◎質問

ふるさと納税制度で
の寄付件数が急激に伸
び、昨年度の寄付額が
約100万円だったのに今
年度は1000万円を

超えている。

ふるさと納税制度の
特典がテレビ番組でと
りあげられ今ブームに
なっており、これを利
用して地域の特産品を

本市でも、ふるさと
納税制度を市の経済の
活性化につなげるよ
う、特産品の宣伝はも
とより、寄付してい
ただいた方に本市に來
ていただけるよう記念
品として宿泊券を贈る
などを考えれば、経済
効果は高くなる。ふる
さと納税の記念品とし
て「里帰り宿泊券」を
関西・関東などの徳島
人会で宣伝するなど力
を入れてほしい。

◎貞野産業経済部次長

本市に來て、お金を
使っていただく方法と
して市内の農家民宿や
民間の保養施設にも
相談し、方法を
探してみたい。

◎再問

ふるさと納税制度の
所管は現在、企画財政
課だが、市の特産品を
記念品として贈ってい
ることや、市の観光宣
伝など経済の活性化に

も役立つことから、担
当部署は商工観光課が
ふさわしいと考える。
昨年度わずか100万円
だったふるさと納税が
今年度は、実質11月か
らのわずか3か月で
1000万円と驚異的
に増えているのだけ
ら、市の経済の活性化
や特産品の宣伝、さら
に観光などを所管する
商工観光課なら市の商
工会や観光協会と連携
もとりやすいと思う。
この際、ふるさと納税
制度の所管替えをする
べきではないか。

◎河野副市長

ふるさと納税制度が発
足した当時、県人会で納
税をお願いした経緯があ
るが、現在の実績を見る
と昔日の感がある。特
産品を販売促進するう
えで、生産者や販売者と
結した方が理にかなっ
ているとも考えるので、
十分に検討したい。



ふるさと納税パンフレット

認知症予防事業として頭の健康
チェックを導入してはどうか

(質問)

将来の介護計画・福祉施策の
中で進める

(答弁)



相 原 一 永
あい はら かず なが

◎質問

認知症になると、記
憶力や理解力、判断力
が低下し社会生活に支

障を来す。患者と家族
が安心して暮らせる環
境整備が緊急の課題
だ。

そこで、1点目に、認知症高齢者などの方が、行方不明になった場合、災害時等に配信される防災メールを活用して早期発見に繋げてはどうか。

2点目に、介護をする方が周囲から偏見や誤解を受けないよう介護マークを作成し、介護に対する手助けをしてはどうか。
3点目に、認知症対策・介護予防対策として、本市は今後のような事業を考えているのか。

○野口防災局長

防災メールは防災情報を送るために登録をしている。今後、どのような形で利用範囲を広げていくか検討する。

○辻内健康福祉部長

介護マークについては、外出先で周囲の方々に理解していくためのアイテムとして、今後全国的に広がっていく傾向がある。本市においても、

先進地の実施状況を調査研究し検討したい。

認知症対策としては厚生労働省が示す認知症施策推進5か年計画にある政策課題に対応して推進するための事業を取り組みたい。

また介護予防対策としては、介護職員とのかわりを一層増やし介護予防に励むとともに、地域での自立支援に向けた取り組みを強化する。

◎再問

介護マークについては、介護者である事を周囲に知らせるために先進地では作成している。認知症の方を抱えた家族の立場になって考えるならば、ぜひ介護マークを作成・周知・配布すべきと考えらるが。

また認知症予防事業として、認知症の前段階である軽度認知障がいの状態をパソコンを使って判断するスクリーニングテストを行う頭の健康チェック事

業を導入してはどうか。

○辻内健康福祉部長

介護マーク・介護予防対策認知症対策については今後非常に重要な課題と認識している。頭の健康チェックについても介護認定をする際、一番初歩的な検査システムである。今後、福祉施策全般に、検討したい。

「その他の質問」

◎質問

視覚障がい者や身体障がい者を含む全ての市民にコミュニケーションが保障される環境整備と啓発を目的とした全国初の（仮称）吉野川市情報アクセス・コミュニケーション保障条例を制定すべきと考えらるが。

○健康福祉部長

県とも連携を密にしながら、知る権利を保障するとともに、安心して暮らせる街づくりができるよう研究したい。

◎質問

低所得者向けの臨時福祉給付金・子育て世帯向けの臨時特例給付金の対象者の方全てが受給できる措置が必要だが。

○健康福祉部長

できるだけ申告漏れがないよう事務手続きを進める。



福岡 正
ふくおか ただし

環境施設の統合の効果と今後の運用について

(質問)

経費削減に努めるとともに新たなサービスを検討

(答弁)

◎質問

運転管理センターが完成し、愛称が「まちびかステーション吉野川」と決まったとのことだが、この施設統合は、行政改革の一環として行われたものであり、重複する経費を削減することが大きな目標の一つである。そこで、統合による将来的な経費削減の見込みと、統合によるスケールメリットを生かして、きめ細やかなサービスの提供が展開できると思うが、新たなサービスを考えている

のか。

次に、現在工事が進んでいるリサイクルセンターの進捗状況および完成後は粗大ごみの資源化の向上が期待される施設となるが、その稼働により、どの程度のごみの資源化が図られ、ごみ減量化が進められるのか。

また、これらの新しくなった施設を環境学習の場として活用し、環境美化の意識の高揚を図るべきと考えらるが。

○村田環境局長

愛称については、市内小学4年生以上に募集し、349名の応募の中から「まちぴかステーション吉野川」と決定したものである。

運転管理センターの統合による経常経費の削減の見込みは、25年度に比べて、26年度予算では、収集車の減車に伴う人員の削減などにより、約1250万円の削減を見込んでいます。

新規サービスについては、高齢者、障がい者世帯などに対し、粗大ごみの戸別収集を実施する。また、市民のニーズを把握しながら、収集現場で創意工夫を凝らして市民サービスの向上を図りたい。

次に、リサイクルセンター施設整備は、8月末に完成する予定である。完成すると、規模拡大により、不燃物、粗大ごみの徹底した分別により、埋め立て処分量の削減、金属類の売却増が見込まれ、埋め立てごみが

毎月40t前後であったが、毎月20tとなり、年間240tの削減が見込まれ、処分費が約1000万円削減される。資源化量については、1年間の実績で判断することになる。

環境学習での活用は、小学校4年生が環境学習の学年と位置づけられていることから、25年度には12校で環境出前講座を実施している。

今後、環境学習事業として、パッカー車の体験やまちぴかステーション吉野川・リサイクルセンターで環境学習が実施できると検討する。

[その他の質問]

◎質問

ロタウイルス胃腸炎の予防助成は。

○福祉事務所長

予防接種の助成は難しいことから、予防方法などの周知に努める。

◎質問

第6期介護保険事業

計画の策定期間は。

○福祉事務所長

第6期介護保険事業計画策定委員会を組織し、来年2月には完了したい。

◎質問

今後の木造住宅新築補助事業制度の取り組みは。

○産業経済部長

丸太材で支給していたものを1次加工と自然乾燥を終えた状態で支給したいと考えている。



運転管理センター



工藤俊夫

男女共同参画の主要課題に対する事業評価は

(質問)

5年後の数値目標を定め取り組んでいく

(答弁)

◎質問

古くから男は外、女は内といった大まかな認識が形成されておられ、今日においても女性の権利擁護や社会進出を図る上で大きな弊害となっている。

東日本大震災時に女性用トイレ、更衣室、物干し場もなくプライバシーに欠けた避難所があり、女性の意見などを政策に取り入れなければと思うが。そこで、本市の各種の審議会並びに市役所の管理職の女性の割合はどの程度になって

いるのか。

また、男女共同参画基本計画の主要課題と事業評価はどのようにしていくのか。

○柿都市民部長

男女共同参画の理念や社会的差別の定義などについて、正しい理解のため、広報並びに啓発活動に努めていく。

審議会委員の女性委員の割合は、平成20年4月には、19・9%で5年後の平成25年4月現在は、32・7%に増加しており、本市の管理職員に占める割合は、平成20年4

月には、15・3%から平成25年4月には8・5%で、とりわけ一般行政職員の割合は1・5%に減少している。

主要課題に対する事業評価については、8課題13項目を掲げ、5年後の数値目標を定めている。

◎再問

本市の女性に占める割合は、審議会委員は、増加しているものの、市役所の一般管理職員の割合が1・5%と極端に悪すぎる。

女性を管理職員として数値目標を掲げて、積極的に登用してはどうか。

○川真田市長

女性の管理職などが少ないことは感じている。女性が活躍できる場所をつくっていく。今後とも努力して女性の登用ということも含めて考える。

「その他の質問」

◎質問

徳島県の権限委譲事務と順位は。

◎総務部次長

109事務で受け入れは71事務である。現在24市町村中6位である。

◎質問

麻名用水堰代替揚水施設への県の取り組みは。

◎建設部次長

今年の1月14・15日に地元説明会が開催され、出された意見などを参考に次回説明会の開催準備が進められている。

◎質問

県では中央構造線活断層帯で特定活動調査区域を指定して規制条例を定めている。鴨島町の上浦断層帯に対しては条例を制定できないか。

◎防災局長

今後、他県他市などの調査の上、必要性も考え検討したい。

◎質問

「人権尊重のまち」

◎市民部長

年度はじめに発表できるように作業を進めている。

宣言はいつ発表するのか。



男女共同参画 基本計画パンフレット



阿佐勝彦

学校再編計画の取り組みについて

(質問)

子どもたちの教育環境を整えるため、より良い学校再編をめざす

(答弁)

◎質問

学校の小規模化、クラスの少人数化について、子どもたちの成長につながるかと考え、先進国ではクラスの少人数化、学校規模の少人数化が進んでいるが、市教委の見解はどのように考えているのか。学校再編は教育費の削減が背景にあるのではないか。

次に今回の学校再編では、美郷地区から学校が全てなくなり、種野小学校については時期を問わず選択肢があるのではないかと。計画では、川田中小学校に統合されることになっているが、地域説明会で、校舎を新築するといった説明があり、「新築するならば、あのような危険な場所を選択せず、もっと安全なところを選んだらいい」という意見がある。学校は、防災面でも重要な役割を担っていることから、安全・安心面での考えは。

◎大久保教育次長

小規模な学校には小規模校のよいところがある。しかし実際に小規模化が著しく進み、複式学級になる可能性があり、市教委としては、複式学級は解消していきたい。また、学校再編計画は教育費の削減が目的でなく、子どもたちの教育環境を整えることを目的としている。

美郷地区の種野小学校は、すでに複式学級の生じる児童数にまで減少しており、地理的な条件も踏まえ、川田中小学校に再編するのが望ましいとの判断で、再編時期は、地域の方々の合意を得た段階で、後から参加していただくことも選択肢の一つと考えている。

◎再問

川田中小学校の建設場所は、安全な場所を検討し、結果代替え地がないなら、河川の浚渫、堤防の補強を県に要望し、建設においては、土手まで学校の敷地を持ち上げ、ゲリラ豪雨にも耐えられる状態を作り上げては。

◎大久保教育次長

立地条件に関しては、学校再編に際して、災害時の安全・安心を確保できるように検討していきたい。





枝 澤 幹 太

団塊世代の知恵と行動力を有効活用できないか

(質問)

支援人材バンクに登録し積極的に活用していく

(答弁)

◎質問

政府は地方公共団体に地域活性化を図るため、個別のメニューやプログラムを提供したり民間の知恵と資金による活性化の推進などいろいろな方法、手段を用いて支援している。市の保有する自然環境、歴史的資産、施設、伝統工芸など誇れる資源は多いが、その活用の検討については不十分であると考えられる。

して登録していただき、現役時代に培ってきた豊富な経験や知識を安心して子育てできるまちづくりに生かしていきたい。

◎大久保教育次長

公民館では多くの講座、教室を開設し、生涯学習として取り組んでいる。団塊の世代の方々が持たれている知識や能力を人材バンクとして登録していただき、活発な公民館活動ができるよう検討していく。

◎石川教育長

市では開かれた学校づくりや地域の教育力の活用の観点から多様な人材を確保し専門的な立場から学校教育への支援を行っている。スクールガード、立哨活動、校庭の木々の剪定、米、野菜の収穫作業の指導、本の読み聞かせ、そば打ち体験など、さまざまな面で協力していただいている。

今後、子育て支援の充実のためにも提供会員と

材バンクへ登録し、小学校のクラブ活動や中学校での部活動など、学校の活性化や子どもたちの健全な成長に資するよう今後とも人材の発掘や活用方法について検討していく。

【その他の質問】

◎質問

通学路の状態を把握しているのか。

◎教育長

「通学路最徐行」と明記した看板を100枚設置した。

◎質問

子どもの体力向上に向けた設備を充実する考えは。

◎教育長

関係部局と協議し、対応したい。

◎質問

乳幼児の健康状態の実態を把握しているのか。

◎健康福祉部長

生まれた子どもの家庭を訪問し健康状態を把握している。



子ども元気まつり

田 村 修 司

不正請求させない介護事業者 チェックの状況は

(質問)

指導は2年に1度、 研修・適正化事業は随時

(答弁)

◎質問

平成26年1月15日の徳島新聞に、徳島市内

のグループホーム6施設、職員数違反、介護報酬9000万円返還

と大きな見出しで介護保険の不正が出ていた。不正を未然に防ぐ意味からも考えて、少なくとも2、3年に1回の定期指導監督は必要と思うが、本市においては現在、地域密着型サービス事業者に対する定期指導監督はどのように行っているのか。1事業所あたりの回数や内容は。

また、地域密着型サービスは、グループホームや認知症の通所介護、小規模多機能居宅介護などであり、事業所の指定や監査の権限は市町村にあるが、広域型のサービスは、一般的な入所施設や通所介護や訪問介護などの指定権限は都道府県にある。しかし、本市民に対する介護サービスの提供については、サービスの質の確認や介護報酬の適正な支払いについて確認する権限は、市町村にも保険者としての権限がある。これら直接指定権

限のない介護サービスの指導や監督についてはどのように行っているのか。

○辻内健康福祉部長

本市には現在グループホーム9施設、小規模多機能型の施設が1施設ある。これらの施設については、吉野川市指定地域密着型サービス事業者等指導および監査実施要綱を作成し、それに基づいて2年に1回指導し、文書では正改善、指示をし、改善状況について報告を求めている。

また、地域密着型サービス以外のサービスについての指導監督は県が指定を行っているが、介護保険の保険者として、介護に関する給付および介護予防に関する給付の請求に関する書類は、十分審査の上、支出などをしていく。

○再問

介護保険制度では、指導監督や監査について指導指針や監査指針

が定められており、指導においては集団指導、実地指導がある。介護保険制度は事後規制という違反が確認された場合に対応することになっているが、本市として違反をおこす前に指導することが重要だと思う。今後質の高い介護サービスを提供する事業者を育成する観点からも、市として行う介護サービス提供事業者に対してどのように対応するのか。

○辻内健康福祉部長

介護保険法に基づき適正化事業計画により指導を行い、研修とは別に、給付費を適正化するための事業を実施している。

【その他の質問】

○質問

本市の学校給食において、地産地消、食育についてどれくらい進んでいるか。

また、ノロウイルス対策としてどのような予防対策を立てているか。

○教育長

県内産の活用率は44%、うち市内産が21%である。

また、ノロウイルス対策としては、適宜研修会を行っている。



岡田光男



施設使用料に3%の転嫁は見送るべき

(質問)

国の方針でもあり、十分に検討した上での見直しである

(答弁)

○質問

納税義務のない公共施設使用料に消費税3%引き上げる条例が提案されているが、増税により公共施設の維持管理費がどの程度増えるのか、また新年度予算にどのように反映されているのか。

○桑村総務部長

消費税による歳出の影響額は、一般会計予算歳出ベースで約1億円を、歳入では新たに約8200万円の交付金増を、また一般会計の施設使用料では約50万円の増をそれぞれ見込んでいく。本市全体の公共施設

○再問

答弁では歳出よりも歳入が少ないということであるが、経過措置として地方消費税引き上げ分0.7%の内0.2%分しか見込んでいないので少ないようになっている。後から2億円程度の交付金が入ってくるものと考ええる。

改正案による施設使用料の増加見込額が約50万円ということで、本市の予算規模からしたら微々たるものである。

本当に消費税増税分を上げなければやっていけないのか、もっと知恵を出すべきでないか。

○桑村総務部長

公共施設使用料の引き上げについては、少なくとも市民生活に影響が

り、心苦しく思っているが、国により適切に引き上げるよう通知もある。こうした状況も踏まえ、施設を管理する所管部局において十分に検討した上での見直しである。

◎再々問

市長の所信表明では消費税増税による景気の腰折れが心配だといっているが、今回の3%上乘せの条例改正は、腰折れをさらに加速させるもので、引き上げに強く反対していく。

【その他の質問】

◎質問

定住促進では若者の流出を減らすことがポイントと考えるが。

○市長

さまざまな施策で支援し、住み続けられるよう研究努力をしたい。

◎質問

今後、学校統廃合をどのように進めようとしているのか。



消費税反対

○教育長
保護者、地域、全ての方に説明し、合意を得ていくという方向で進めたい。

◎質問

成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成は。

○健康福祉部長
定期接種に向けた準備を進めたい。

◎質問

鳥獣被害対策に新たな工夫は。

○産業経済部長

無線発信機を付けた捕獲檻を導入している。

紙面の都合上、「市民のページ」を掲載することができませんでした。深くお詫び申し上げます。

クイズ ?

鳥類の名前です。漢字をひらがなに直してください。

- ① 家鴨
- ② 啄木鳥
- ③ 雲雀
- ④ 鸚哥
- ⑤ 雉
- ⑥ 梟
- ⑦ 鴉
- ⑧ 山原水鶏

◎正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎応募要項 はがき、またはFAXに答えて郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局へお送りください。

◎送り先 応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。
〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241
FAX(0883)22-2242

◎締切日 平成26年7月4日(消印有効)

チョットひと言

☆初めての挑戦でしたが、難しかったです。これを機会に漢字の勉強をしたいと思います。(鴨島町 田村さま)
☆日頃、見慣れない漢字ばかりで、とても勉強になりました。(鴨島町 立石さま)
☆吉野川市が良くなるように、議会が活発な議論を行うことを期待しています。(川島町 西條さま)

◎(前回の回答)

- ① ツムジ
- ② チョンマゲ
- ③ ソバカス
- ④ マツゲ
- ⑤ ホクロ
- ⑥ マナジリ
- ⑦ ウナジ
- ⑧ クルブシ

【応募総数】57通

募 集 要 項

表紙の写真

募 集



テーマ 吉野川市で撮影した
季節の風景や祭り、行事など。

規 定 モノクロおよびカラープリント
2L判～四切・W四切組
写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締め切り 平成26年8月1日(消印有効)
発行は8月です。季節感のあるものをお願いします。

そ の 他 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。

応 募 先 〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

… 規 定 …

●400字詰原稿用紙2枚以内
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

●締め切り
平成26年7月4日(消印有効)

*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

… あて先 …
〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

あとがき

議会運営委員会で、議会改革の先駆者である岐阜県高山市、滋賀県彦根市、兵庫県加西市に視察研修。3市の議会は、積極的に議会改革に取り組んで成功しているところである。最初は苦労したようですが、市民との対話や議員同士の討論で活路を見いだしたようです。中でも高山市は、議会改革が進んでおり、議会のチェック機能を強化することが望まれる中、議員も市民に対して、議会報告会や意見交換会を行い、市の活性化が進んでいるそうです。

本市では、市長が市民の方や議会とも十分話し合い、政策を進めていております。今年は市制10周年ということ、いろいろなイベントを企画していますが、市民の方の提案も吟味して行っ予定です。

私たち議員は、いろいろな案件を審議し、承認していきませんが、今後は予算、決算ともチェックできる体制が必要であると考えております。そのためには市民の皆さまが議事を傍聴して意見をくだされば幸いです。



議会運営委員会視察

委員 長	岡田 光男	編集委員
副委員 長	細井 英輔	
委員	塩田 智子	
	岸田 益雄	
	藤原 一正	
	川村 辰夫	
	栗原 五男	

